

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成25年9月12日(2013.9.12)

【公開番号】特開2011-49541(P2011-49541A)

【公開日】平成23年3月10日(2011.3.10)

【年通号数】公開・登録公報2011-010

【出願番号】特願2010-168275(P2010-168275)

【国際特許分類】

H 05 K 7/14 (2006.01)

H 05 K 1/02 (2006.01)

【F I】

H 05 K 7/14 K

H 05 K 1/02 D

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月26日(2013.7.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

スイッチが実装されたフレキシブル基板と、

前記フレキシブル基板における前記スイッチの実装面とは反対の面に対向して配置された補強板と、

第1の面を有し、前記第1の面が、前記補強板における、前記フレキシブル基板に対向する面とは反対の面に対向して配置されたスペーサと、

前記スペーサにおける、前記第1の面とは反対の面である第2の面に対向して配置されたメイン基板と、

を備えることを特徴とする電子装置。

【請求項2】

前記フレキシブル基板と、前記補強板と、前記スペーサとが1つのユニットとして形成された、ことを特徴とする請求項1に記載の電子装置。

【請求項3】

前記スペーサは位置決め部を備え、

前記補強板と前記フレキシブル基板は、前記位置決め部によって前記スペーサに対して位置決めされる、

ことを特徴とする請求項1または2に記載の電子装置。

【請求項4】

前記スペーサは固定部を備え、

前記補強板と前記フレキシブル基板は、前記固定部によって前記スペーサに固定される、ことを特徴とする請求項2に記載の電子装置。

【請求項5】

前記フレキシブル基板は延伸部を有し、前記延伸部は他の基板に接続される、ことを特徴とする請求項1から4のいずれかに記載の電子装置。

【請求項6】

前記他の基板に電子装置のぶれを検出するジャイロセンサーが搭載された、ことを特徴とする請求項5に記載の電子装置。

**【請求項 7】**

前記フレキシブル基板は延伸部を有し、前記延伸部に電子装置のぶれを検出するジャイロセンサーが実装された、ことを特徴とする請求項1から4のいずれかに記載の電子装置。

**【請求項 8】**

前記スイッチは、可動部の位置により状態が切り替わる可動スイッチであって、前記スペーサは、前記可動部を案内する手段を有する、ことを特徴とする請求項1から7のいずれかに記載の電子装置。

**【請求項 9】**

前記スペーサは、樹脂で形成されている、ことを特徴とする請求項1から8のいずれかに記載の電子装置。